

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年4月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677100168
法人名	有限会社 健やかクラブ
事業所名	グループホーム元気
所在地	鹿児島県鹿屋市串良町細山田5340-2 (電話) 0994-31-0161
自己評価作成日	平成31年3月19日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成31年3月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・広い敷地を利用して利用者と共に家庭菜園を作り、草取りから収穫など共同している。さらに収穫した野菜等は料理に活用している。園芸療法もとり入れ、種まきから育苗まで花づくり等にいそしんでいる。更に地域の方々にもお裾分けが出来、喜んで頂いている。

・個々の生活レベルに焦点を置き、強制することが無いようにし、我が家のごとくゆっくりと生活できている。

・社会福祉士を中心に相談業務や3人の介護福祉士を中心に介護の勉強会ができています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、広々とした敷地に開設当初に植樹された桜の大木があり、季節柄満開の花が訪れる人々の目を和ませている。庭の山吹の花も目を引いており季節を感じられるよう共有スペースにも活かしてある。共用スペースの中央に畳スペースがあり、雛段飾りが設置されている。建物全体が和の雰囲気であり天然木の温かみを感じられる。

消防団長などの地域の協力体制もあり、年2回、運営推進会議と同時に避難訓練を実施している。災害への意識が高く、入所者の尊いのちを救うために、「救急隊への情報提供カード」を作成し活用している。また、消防署や消防団の方から防災の知識や技術を学び防災に備えている。ホームは、災害時の避難場所として市から依頼されており、米や水、インスタント食品、防災頭巾ほか防災グッズを備えている。敷地に回転灯を設置し地域へ緊急事態を知らせるなどのしくみがある。また、子ども110当番の家でもあり地域に信頼される事業所として社会貢献している。

理念は、「心こそ大切なれ」を原点に、苦楽を共にし本人らしく協同生活が送れるよう支援するといったものであり、申し送り時に唱和し職員会議で振り返りの機会を設けている。ホームが我が家と思ってもらえるよう、「元気」の名そのままに明るく・朗らかに・笑顔を忘れないをモットーに利用者や家族、地域の方に接し支援していくという方針であり職員に大切にされ且つ浸透している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り時にスタッフで唱和し確認自覚する。毎月のスタッフ会議でも理念の再確認をしている。	理念は、玄関、共有スペースに掲示され申し送り時に職員全員で唱和し、毎月の職員会議で振り返る機会を設けている。「心こそ大切なれ」を心がけ、「元気」の名を意識し明るく活気ある生活の実現を目指している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ホームでの行事には参加の呼びかけている。また、節分の日手作り恵方巻を近隣に配ったりしている。	自治会には加入しているが、2地区に跨っているため関係性が薄く地域の高齢化などの課題もあり日常的な交流までには至っていない。管理者は、小学生の体験学習や踊り、三味線などのボランティアなどを行事ごとに受け入れ交流している。また、事業所は災害時の避難所になっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	近隣住民の方がいつでも立ち寄れるように普段から声掛けを実践している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月ごとに運営推進会議を開催し、行事实施及びサービス状況の報告をし、会議での意見などを参考にしてサービス向上に活かしている。	毎回家族全員に参加を呼び掛け複数名参加しているが、年2回は、消防訓練と同時開催している。駐在員から交通事故の報告や治安などについてその都度状況報告を受けたり、資料を配布して情報を共有したりメンバー全員でホームや地域の取り組み、悩みなどを話し合っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	定例の運営推進会議にも参加してもらっている。施設長、管理者が市の行政に出向いたり、電話などで情報交換や実情、サービスの取り組みを伝えながら向上に努めている。	市担当者や福祉事務所職員との連携や協力関係があり、市の要請により他施設から利用者を受け入れるなどして協力関係を築いている。また、グループホーム連絡評議会との情報共有の場もあり、勉強会や研修会などには積極的に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会及び適正化委員会を同時に開催し期間を設定・経過記録を記入している。日中は玄関に鍵をかけず、利用者の安心安全に努めている。	昼間は、施錠することなく目配り、気配りなどを徹底し、利用者が安全に暮らせるよう配慮している。職員は、定期的に研修会を開催し、自己研鑽に努めるとともに、利用者への声かけやケアの方法が不適切にならないよう努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	市及びGH連絡協議会主催の各種研修会等にスタッフが交替で参加し、職員会議等で研修報告して共有している。また、事業所内研修も行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	市及び包括支援センターの学習会にはスタッフが交替で参加し、職員会議等で研修報告している。実施している市社協とも連携がとれるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	文書にてホームの運営方針等を丁寧に説明している。退所時は各関係機関と連携して、家族の方が安心できるようサポートしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置したり、苦情受付窓口を設置し、いつでも対応できる体制を取っている。また、随時誰にでも気軽に意見が言えるような雰囲気づくりに努めている。	職員は、利用者それぞれの思いや意向を把握し意見を聞くよう支援しており、家族とは信頼関係が築けるよう取り組み、意見、提案が出しやすい雰囲気作りに配慮している。運営推進会議には、なるべく多くの家族が参加してもらえるよう全員に声かけし情報を共有し協力関係が築けるよう取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送り帳を利用したり、随時開催の職員会議の中で、意見など聞いたりして運営に反映している。	代表者や管理者は、職員会議や休憩時間を活用し、職員と気軽に話し合いながら働きやすい環境、条件の整備に努めている。職員とは良好な関係性を築いており、対話を重視し、やりがいや向上心を持って働けるよう資格取得を勧めたり手当を支給するなど支援している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の意見を多く取り入れて働きやすい環境を作っている。また、何でも相談できる雰囲気がある。資格取得への援助や資格手当を創設し、働く意欲を高めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の外部研修や市・包括・連絡協議会等の研修会に参加したり、ホーム内でも職員会の中で勉強したり、研鑽している。又、個々の相談にも随時応じ向上につなげている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会主催の勉強会や経営者会議主催の勉強会に参加し、相互間の意見交換したりして、サービスの向上に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>初期の面接時、優しい言葉遣いと態度で接し、不安感を与えないようにしている。できる限り本人の要望を受け入れられるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の方が安心していただくようにわかりやすく説明し、優しい言葉遣いと態度で接し、ご家族の要望を受け入れるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人とご家族の情報を収集し必要に応じて、他の関係機関と連携を図ってサービス利用に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の意思を尊重し、強制するのではなくコミュニケーションに心がけ、趣味、レクリエーション、調理の下ごしらえ、行事など共に協力し助け合うことに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	通院や外出、又、お盆、正月の一時帰宅や外泊を負担のない限り、協力いただいている。更に、ホームの行事やホーム便り、面会、写真、電話などでお知らせしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも外出、外泊が自由にできるように又、いつでも面会に来ていただくように開放している。行きたいところを伺い、一緒にドライブに行ったりしている。	知人、友人の面会も多く、理美容院などは職員が付き添ったり、美容師の来訪があったりと馴染みの関係が継続できている。毎年、年賀状は職員と一緒に作成、手紙のやりとりも多い。職員はドライブがてら買い物が楽しめるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一緒に台所作業をしたり、洗濯物を干したり、畳んだり、レクリエーションへの参加をいただいている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても家族の方へ電話したり、現在の状況を聞いたりして、関係を維持している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族から得た情報や日頃のコミュニケーションの中で、希望することを聞いたり、勧めたりしている。（買い物、食べたいもの、したいことなど）	意志疎通の図れる利用者が多く、本人の思いに触れ意向を確認し本人がやりたいこと、生きがいが持てるよう本人本位に検討している。困難な場合は、利用者の思いを汲み取り、家族や職員と情報を共有することで本人の意向を把握するよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本情報を基にして、今までの生活歴を重視し、サービス担当者会議を開催して、サービス利用の経過に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の介護記録や総合支援計画表、申し送り帳に記入している。職員会議や毎日の申し送り、緊急のミーティングを実施している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメントに基づいて具体的なケアプランを作成している。日々のケアの中で忘れる事がないよう、総合支援計画表に記載し、必要に応じてスタッフがミーティングをし、よりよいケアが出来るようにしている。	総合支援計画表には、日々のバイタルや食事、排泄などの情報、サービス内容、モニタリング結果が記載されており、記録は見やすく整理されている。毎月のモニタリングや3ヶ月ごとの評価・見直しがなされ、本人や家族に解りやすく説明した上で生活習慣の継続や生活活動への参加を目指した介護計画になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の介護記録を毎日記入し、申し送り帳を利用してスタッフ全員が常に情報を共有できるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人家族の要望を受け入れて、GHの特性を活かし一人一人が自然な形で、持っている力を発揮して暮らしていけるよう支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご家族の紹介や職員の紹介などで舞踏や楽器演奏に来ていただいたり、ボランティアで話し相手に来ていただいている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	24時間の医療連携を確保し、月2回の訪問診療を受けている。他科の受診は家族の協力をもらいながら支援している。	契約時に本人、家族が希望するかかりつけ医を確認しているが、大半が協力医であり、月2回訪問診療にて適切な医療を受けている。他科受診については家族に依頼しているが、文書にて医療機関への情報提供をするなど連携をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護兼看護師が2名いるため、毎日のバイタルチェックや介護記録を元に、異常があればその都度、Drと連絡を取り、Drの指示を仰ぐ。必要があれば往診や受診をする。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	提携医療機関を確保しMSWと連絡を図ったり、その状況を聞いたりして行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	提携医療機関のDr、ご家族などと普段から話し合い全員で方針を共有している。これまでに看取り経験もある。	重度化に関しては、段階に応じて利用者、家族と十分に話しながら柔軟に取り組んでおり、これまでに看取りの経験もあるが、現在は、看取りができる体制がないため指針を見直しする予定である。今後も事業所ででき得るケアについて説明し、主治医と連携し、本人、家族に理解を求めながら方針を共有し取り組む予定である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の協力を得てホームで研修したり、外部研修に参加して初期対応の訓練を実施している。介護職員は普通救命講習を13名中12名が受講し、救急時の情報提供カードを常備している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>緊急時対応策マニュアルを作成して、周知徹底している。消防、地域消防団長、地域住民にも協力していただき、年2回の消火、避難訓練を実施し、夜間及び日勤の模擬訓練を行っている。</p>	<p>南側居室は、掃き出しサッシになっており、避難経路が確保され年2回昼夜想定にて避難訓練を実施、運営推進会議と同時に行われている。地域の協力体制もあり屋外には、回転灯が設置され、水、米、インスタント食品などの備蓄を確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	レク以外は他人と接するのが苦手な人、口下手な人など無理強いはせず、居室で過ごしていただいたり、時々スタッフが声掛けする。	人格を尊重し、不適切な言葉使いや羞恥心などに配慮したケアを行うなど職員教育を徹底している。また、一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮して本人主体にケアしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一つ一つの出来事に声掛けして、出来たことは褒めてあげたり、好みのおかずや食べたいものの希望を取ったり、行きたい所など聞いて支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自由に散歩、外出、フロアでのくつろぎ等様々なスタイルが保たてるよう一人一人のペースを大切に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自分の意思表示が明確に出来る人には、更衣や衣類を自分で選んで決めていただいている。また、起床時には鏡を見ながら整髪を行い、散髪時は美容師に来ていただき、行くことが困難な場合でも柔軟に対応している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様に何を食べたいのか声掛けし、好みに応じて食事を作ったり、準備のできる人は手伝っていただいたり、片づけをしていただいている。定期的に外食や季節の食べ物を取り入れ、楽しく頂いている。	誕生日には、本人のリクエストメニューに配慮し、行事食を通じて季節を感じたり、手作りの弁当を楽しみながら花見をしている。茶碗拭きなど能力に応じた手伝いをもらっており、外食は、家族に協力をもらっている。また、菜園で採れた季節の野菜を料理に活用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の水分摂取量を記録し、不足しないように心がけている。また、メニューを毎日書くことで、栄養バランスが偏らないようにしている。これまでに糖尿病の方の薬を減らすことに成功したケースが数件ある。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時のうがい、毎食前のお茶でのうがい、食後は歯磨きうがい、夕食後は義歯洗浄剤を用いて消毒している。また、訪問歯科医のアドバイスを受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄時間を記録し時間を見計らって声掛け誘導にてトイレ対応に努めている。回数から読み取れることがある場合には、かかりつけのDrに指示を仰ぎ、病院受診等柔軟に対応している。	排泄チェック表にて排泄のリズムを把握し、声かけやトイレへ誘導し排泄の自立を図っている。ポータブルトイレの使用はない。便秘気味の方には、食事、水分、運動などに注意し排便のリズムを整えたり、主治医に相談して排泄の自立に向けた支援をおこなっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘になることで認知症の症状の悪化を職員が理解し、水分補給や植物繊維食品を食事に取り入れたり、適度な運動を行ったり、服薬等を用いて排便コントロールに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴を基本とし、一日がかりで一人一人のタイミングを見て声掛けし、入浴剤等で入浴の支援をしている。寒い日には危険が伴う為、室内外温度、浴槽内温度に注意し、上がった後は水分補給をしている。	本人の希望や必要性、体力的な要素を考慮して、冬場は、週2回程度入浴してもらおうなど入浴回数を工夫している。ヒートショックがないよう浴室や脱衣場の室温に注意し、水分補給や保温に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日の生活状況、生活習慣を把握し、和室や居室でゆっくりしていただく、夜間帯においては眠剤が必要の方は用いて安眠していただくこともあるが、生活リズムが整い眠剤が不要になったケースもある。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬情報をファイルして1回分ずつ薬局にて分包して頂き、服薬時には氏名日付の確認、症状の変化確認に努めている。また、薬に関する勉強会を実施し、入居時に比べ、薬の量も減少したケースもある。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	朝の掃除時、歩行可能な方には、自分の居室は掃除をして頂いている。洗濯物を干したり、畳んだりそれぞれ役割が自然と作られている。花壇の手入れや草取りなども共に実施している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日はドライブに行ったり、買い物に行きたい入居者様にはスーパーに同行していただいて、日用品等の買い物に付き添っていただいている。外食も行うことで閉じこもることがないよう気をつけている。	年間行事計画を作成し、みかん狩りやバラ園などに手作り弁当持参で外出している。敷地内には桜の大木も数本あり、菜園での野菜の成長を観たり庭を散策したり、職員とドライブがてら外出している。家族とは、墓参りや外食などに出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>殆んどの方がお金を所持していない。必要に応じて使うときはホームで立て替えて使えるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>個々に応じて自由に電話できる体制を取っている。又、スタッフが協力して年賀状や暑中見舞いなど家族や友人に出せるように努めている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>四季の移り変わりには、貼り絵、雛飾り、こいのぼりなど揚げたり、メニューなどにも取り入れる。季節が変わることを視覚、味覚で感じてもらっている。また、室温が一定に保たれるよう冷暖房を必要時には使用している。掃除を朝と昼行うことで、トイレ等も清潔にしている。</p>	<p>建物全体が和の色調で木の温もりを感じさせウッドデッキから眺める桜の花は絶景である。玄関を入ると地域の方から寄贈された大作の羽子板が展示されており、畳スペースには、雛飾りがあり、色鮮やかな山吹の花や桜の切り紙のモチーフが季節を感じさせる。掃除も行き届くなど清潔感があり、利用者や職員の活気ある笑い声や話し声が響き渡る家庭的な雰囲気である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>個室もあり、ホール内にソファを設置し、又、畳の間も設けてあり、入居者様同士、自由に過ごせられるようにしてある。また、テレビが見たい方は自由に見られるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者一人一人が使い慣れた生活用品やテレビ、仏壇・位牌等が持ち込まれている。制限はないが、火を取り扱うものは遠慮していただいている。また、部屋に畳みを敷くことも可能である。</p>	<p>全体的に風通しの良い居室環境で、以前、ご夫婦で入居していた部屋は趣味の観葉植物が多い。大好きなインスタントラーメンを夜食に摂られる方がおられポットが設置してある。利用者別オリジナルのカレンダーが掲示され、思い思いの馴染みの品を持ち込み居心地よく過ごしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自立とは何かを職員がそれぞれ考え、生活の質を高めている。様々な場所において車椅子でも利用できるようにスペースを広くしている。又、歩行の不安定な方もホール内手すりを設置して、自立した生活が送れるよう工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない